科目ナンバリング	U-LAS13 10007 LJ60								
授業科目名 <英訳>	基礎有機化学 I Basic Organic Chemistry I				担当者所属 職名・氏名	農学研究科　教授　　髙野　俊幸			
群	自然科学科目群		分野(分類)	化学(基礎)			使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金2		配当学年	主として1回生	対象学生	理系向	

[授業の概要・目的]

理科系学生（農学部１回生のクラス指定授業）を対象として、生体成分の機能や反応・代謝を理解するための基盤となる有機化学の基礎を解説する。

[到達目標]

有機化合物の構造や反応を学ぶことで、生命現象を司る化学の原理について、基礎的な理解を深める。

[授業計画と内容]

本授業では、フィードバックを含め全15回の授業を実施する。以下の項目について、１項目あたり1－4週の授業を行う。

１．有機化合物の構造と化学結合（第1-2週）
２．有機化合物の立体化学（第3-5週）
３．有機化合物の命名法（第6週）
４．酸と塩基（第7週）
５．酸化と還元（第8週）
６．有機化学反応の種類と反応機構（第9-12週）
７．生命関連の化学（第13-14週）

フィードバック
期末試験終了後、解答を配布するとともに、学生からの質問を受け付ける。

[履修要件]

高校レベルの化学の知識を前提とする。
教科書を持参しない学生の授業参加は原則として認めない。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、平常点評価(出席状況と課題など)（30%)と期末試験の成績(70%)による。

[教科書]

入江一浩・津江広人編 『有機化学要論』（学術図書）ISBN:978-4-7806-0479-5

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前に次回講義の該当部分を読んでおくこと。復習を兼ねて、毎回、レポート課題を課すので、所定期限までに回答すること。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィス・アワーは特に定めないが、随時質問を受け付ける。